

第2章 単純集計結果にみる今回調査の概要

1. 新任委員、中堅委員、単位民児協会長、主任児童委員の現況と意識

ここでは、「新任委員（以下「新任）」、「中堅委員（以下「中堅）」、「単位民児協会長（以下「会長）」、「主任児童委員（以下「主任）」向け各調査の単純集計結果を掲載する。

集計表は、新任・中堅・会長・主任の順に並べ、それぞれ構成比（単位は%）と順位を掲載している（順位は、最も多い1位のみを付している場合がある）。なお、複数回答の設問については、選択肢を上から会長の回答の順位で掲載した。

※構成比は、小数点第二位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。

◆単純集計結果の特徴◆

- 推薦を受けるまで委員のほぼ半数は、民生委員・児童委員活動（主任児童委員活動）について名称を知っている程度であり具体的な知識を持っていない。推薦時の説明は、民児協会長や先輩委員、自治会・町内会の役員、行政や社協の職員等様々な人を通じてなされ、推薦時の説明に対する満足度（とても満足＋ある程度満足）は新任委員で4割に留まっている。
- 現在の活動に対するやりがい度は高く、新任・中堅・会長と主任いずれも、8割から9割以上の委員がやりがいを感じている。やりがいや支えにつながることで、“地域の新たな情報や知識”、“地域への貢献”、“自身の成長”、“活動の仲間”などのキーワードが上位にあがっている。
一方で、活動上の悩みや苦勞を委員のおよそ9割が感じており、特に、活動に必要な個人情報の入手や管理に関する悩みを含め、チームとして活動を行う上での個人情報の取り扱いやプライバシーに関わる事柄が、委員活動上の大きな課題となっている。
- 委員活動を円滑に行う上で不可欠な、単位民児協内の連携・コミュニケーションについては、とれている（十分に＋ある程度）と9割前後の委員が評価し、委員同士が相談し合える雰囲気ができていると感じている。また、新任・中堅が最も頼りにしているのは、単位民児協会長や先輩委員という回答が多かった。
- 委員活動に対する地域住民の理解度については、ある程度理解されていると感じている委員が、新任・中堅・会長では6割～7割であるのに対して、主任では2割に留まり、引き続き課題を残している。
- 今後委員自身が力を入れたい活動としては、新任・中堅・会長ともに、広くまちづくりに向けた活動、地域活動と、個別援助活動の強化の双方があげられている。また、委員自身の資質向上に向けて、事例を用いた具体的実践的な研修を求めている。
- 今後、単位民児協が力を入れるべき活動について委員の認識はほぼ共通し、地域の安全・安心に関わる活動と、住民組織等との連携による地域福祉活動の推進が上位にあがっている。組織運営面でも共通して、委員同士の協力体制の強化と、経験等に応じた研修の充実、関係機関等との役割分担・連携の推進が上位にあげられている。

(1) 委員就任時について

《民生委員・児童委員》

- 新任・中堅・会長ともに、就任前に民生委員・児童委員活動について何らかの知識を有していた委員は半数程度で、4割の委員は「名称を知っていた程度」と回答している。
- 推薦時の説明は、民児協会長や先輩委員、自治会・町内会の役員、行政や社協の職員等様々な人を通じてなされているが、およそ4割は民児協会長や先輩委員から、3割は自治会・町内会の役員から受けている。
- 推薦時の説明に対する満足度は、中堅・会長で「ある程度満足できた」と「(あまり)満足できなかった」の割合は半々であったが、新任では「(あまり)満足できなかった」が半数以上になっている。
- 就任時研修で実際に受けた研修内容は、新任・中堅・会長ともに、「活動の理念・役割」、「基本的人権の尊重やプライバシー保護」が7～8割台と最も多い。多くの項目で、会長→中堅→新任の順に説明を受けた割合が高くなっており、就任時研修でより多くの情報が伝えられるようになってきている様子が見えてくる。

《主任児童委員》

- 主任児童委員について、就任前に「名称・活動内容ともに知らなかった」とする委員は3割にのぼり、活動について何らかの知識を有していた委員は少なかった。
- 推薦時の説明は、およそ4割は民児協会長や先輩委員から、3割は市区町村の行政や社協の職員から受けている。
- 推薦時の説明に対する満足度は、「満足できなかった(あまり)満足できなかった」とする委員が半数以上になっている。
- 就任時研修で実際に受けた研修内容は、民生委員・児童委員同様に、「活動の理念・役割」、「基本的人権の尊重やプライバシー保護」が最も多く、主任児童委員の「主な活動内容、区域担当の児童委員との関係」については、半数に留まっている。

1) 就任に際しての意識

① 委員を引き受けた動機〔複数回答・3つまで〕

民生委員・児童委員を引き受けた動機は、新任・中堅ともに「やりがいがあると思った」が最も多く、半数を占める一方で、新任・中堅では「断りきれなかった」も4割を超えている。

主任では「断りきれなかった」が「やりがいがあると思った」よりわずかに多くなっている。(図表 2-1-1)

図表 2-1-1 委員を引き受けた動機

(構成比の単位(%)、以下同)

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
地域のために働くことは、やりがいがあると思ったので	49.4	1	50.1	1	55.2	1	41.0	2
社会貢献活動として重要と思ったので	37.5	3	38.9	3	43.7	2	29.0	4
断りきれなかったので	46.9	2	44.0	2	38.8	3	47.8	1
これまでの地域での活動が活かせると思ったので	15.2		20.5	5	23.9	4	25.0	
月1回程度の活動で、誰にでもできると聞いて気軽な気持ちで	22.7	4	24.1	4	18.9	5	29.4	3
これまでの仕事の経験が活かせると思ったので	19.0	5	12.8		18.2		28.3	5
家族から後押しされたので	11.5		10.7		11.6		8.5	
民生委員・児童委員(主任児童委員)に以前から関心があったので	6.0		6.7		11.1		2.9	
大変名誉なことだと思ったので	7.2		5.5		10.3		2.9	
友人や仲間ができると思ったので	4.7		4.1		4.3		5.5	
その他	8.9		9.3		9.5		8.1	
特に理由はない	0.5		1.0		0.3		0.2	
無回答	3.0		3.2		1.3		1.7	
回答者数	573		507		631		544	

② 委員活動に関する就任前の認知度〔単数回答〕

民生委員・児童委員活動に関する就任前の認知度は、新任・中堅・会長いずれも「名称を知っていた程度」が最も多いが、会長では「活動の内容まである程度知っていた」もほぼ同じ割合となっている。

主任では「主任児童委員活動については知らなかった」と「名称・活動内容ともに知らなかった」がともに3割となっている。(図表 2-1-2)

図表 2-1-2 就任前の認知度

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
活動の内容まで、ある程度知っていた	30.4	2	29.2	2	38.0	2	14.3	
民生委員活動、児童委員活動双方について知っていた訳ではなかった(民生委員・児童委員活動は知っていたが、主任児童委員活動については知らなかった)	22.5		19.7		18.2		31.3	1
民生委員・児童委員(主任児童委員)という名称を知っていた程度	42.8	1	45.6	1	38.8	1	21.7	
名称・活動内容ともに知らなかった	1.2		2.6		3.3		31.3	1
無回答	3.1		3.0		1.6		1.5	
回答者数	573		507		631		544	

2) 推薦時の説明と就任時研修(新任研修等)について

① 推薦時の説明者〔単数回答〕

民生委員・児童委員に関する推薦時の説明者は、新任・中堅・会長と主任いずれも「単位民児協の会長や民生委員・児童委員活動の経験者」が最も多く、4割超となっている。

新任・中堅・会長では次いで、「自治会・町内会の会長や役員」が多く、その割合は、会長→中堅→新任の順にわずかずつ増えている。一方、主任の2位は「市区町村の行政・社協職員」で、3割近くがあげている。(図表 2-1-3)

図表 2-1-3 推薦時の説明者

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
単位民児協の会長や先輩委員など、民生委員・児童委員活動の経験者	43.3	1	42.6	1	43.3	1	43.9	1
市区町村の民生委員推薦会委員	4.2		6.1		7.4		9.7	
自治会・町内会の会長や役員	33.7	2	29.8	2	24.2	2	13.1	3
市区町村の行政職員や社協職員	13.8	3	16.2	3	18.2	3	27.8	2
PTA、青少年委員など地域の団体役員	0.0		0.2		0.0		0.9	
その他	3.5		3.4		5.7		3.7	
無回答	1.6		1.8		1.1		0.9	
回答者数	573		507		631		544	

② 推薦時に実際に受けた説明内容〔複数回答・あてはまるものすべて〕

推薦時に「実際に受けた」説明の内容は、共通して「理念、役割」、「主な活動内容」、「基本的な人権の尊重やプライバシー保護」が上位となっている。

新任と主任では「主な活動内容と、一般的な活動量」が最も多くなっている。(図表 2-1-4)

図表 2-1-4 推薦時に実際に受けた説明内容

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
民生委員・児童委員（主任児童委員）活動の理念、役割について	46.2	3	52.3	1	51.2	1	54.2	2
主な活動内容と、一般的な活動量について	60.6	1	48.9	2	42.6	2	58.6	1
基本的な人権の尊重やプライバシー保護について	46.6	2	48.1	3	42.5	3	34.9	3
福祉票（児童票）や活動記録の付け方、情報管理のあり方について	23.0		31.2	4	33.4	4	12.1	
行政や社協と民生委員・児童委員（主任児童委員）活動との関係について	25.7	5	30.2		32.8	5	21.1	5
単位民児協、市区町村民児協をはじめとする民生委員児童委員協議会の組織について	25.7	5	23.3		32.2		31.3	4
緊急時や困ったときの相談先、連絡方法について	27.2	4	30.8	5	25.7		16.7	
個別援助や相談・支援活動を行う上での姿勢や援助方法について	19.9		26.2		24.6		16.0	
活動に関わる社会福祉の制度や政策について	14.8		18.5		19.0		9.2	
活動に関わる地域の関係機関や社会資源について	13.3		11.4		13.2		12.5	
その他	16.1		17.9		20.6		14.7	
無回答	9.1		8.1		9.5		5.3	
回答者数	573		507		631		544	

③ 推薦時に最低限必要と思う説明内容〔複数回答・あてはまるものすべて〕

推薦時に「最低限必要と思う」説明の内容は、共通して「民生委員・児童委員（主任児童委員）の理念、役割」が7割前後を占めている。

次いで、新任と主任では「主な活動内容と、一般的な活動量」、中堅・会長では「基本的人権の尊重やプライバシー保護」が続いている。その他、新任・中堅・会長共通に「行政や社協との関係」、「個別援助や相談・支援の方法」、「相談先、連絡方法」の説明が必要と半数近くが回答している。（図表 2-1-5）なお、前問との対比図は 97 頁に掲載。

図表 2-1-5 推薦時に最低限必要と思う説明内容

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
民生委員・児童委員（主任児童委員）活動の理念、役割について	66.9	1	70.6	1	69.9	1	77.9	1
基本的人権の尊重やプライバシー保護について	49.2	3	57.4	2	58.0	2	46.3	5
行政や社協と民生委員・児童委員（主任児童委員）活動との関係について	47.5	4	51.3	4	51.3	3	47.2	4
個別援助や相談・支援活動を行う上での姿勢や援助方法について	42.8		47.1		47.2	4	36.6	
緊急時や困ったときの相談先、連絡方法について	45.9	5	50.7	5	46.9	5	35.5	
主な活動内容と、一般的な活動量について	54.1	2	52.7	3	45.6		64.0	2
福祉票（児童票）や活動記録の付け方、情報管理のあり方について	35.4		38.7		40.7		22.4	
単位民児協、市区町村民児協をはじめとする民生委員児童委員協議会の組織について	34.2		41.6		40.4		50.6	3
活動に関わる社会福祉の制度や政策について	34.6		34.7		36.3		20.8	
活動に関わる地域の関係機関や社会資源について	27.9		30.2		33.9		30.1	
その他	17.3		18.9		25.2		17.8	
無回答	4.7		3.2		3.0		0.7	
回答者数	573		507		631		544	

④ 推薦時の説明内容の満足度〔単数回答〕

推薦時の説明の満足度をみると、新任と主任では、満足できなかった（「あまり満足できなかった」＋「満足できなかった」）とする回答が過半数に達し、満足できた（「とても満足」＋「ある程度満足」）とする回答は4割強に留まっている。中堅・会長では、満足できたと満足できなかったの割合は半々であった。（図表 2-1-6）

図表 2-1-6 推薦時の説明内容の満足度

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
とても満足できた	1.9		2.0		1.7		0.6	
ある程度満足できた	40.0		46.9	1	47.4	1	43.2	1
あまり満足できなかった	41.4	1	33.9		33.9		39.0	
満足できなかった	14.0		13.8		14.4		15.4	
無回答	2.8		3.4		2.5		1.8	
回答者数	573		507		631		544	

⑤ 就任時研修（新任研修等）で実際に受けた研修内容

〔複数回答・あてはまるものすべて〕

就任時研修で「実際に受けた」研修の内容は、共通して「民生委員・児童委員（主任児童委員）の理念・役割」（8割台）、「基本的人権の尊重やプライバシー保護」（6割～7割台）が上位となっている。

新任・中堅・会長の回答をみると、多くの項目で、会長→中堅→新任の順に回答割合が高くなっている。（図表 2-1-7）

図表 2-1-7 就任時研修（新任研修等）で実際に受けた研修内容

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
民生委員・児童委員（主任児童委員）活動の理念、役割について	88.7	1	82.1	1	81.5	1	83.8	1
基本的人権の尊重やプライバシー保護について	78.7	2	75.0	2	64.0	2	70.8	2
行政や社協と民生委員・児童委員（主任児童委員）活動との関係について	63.4	5	54.2		53.7	3	46.1	
福祉票（児童票）や活動記録の付け方、情報管理のあり方について	52.4		55.6	5	50.2	4	36.6	
活動に関わる社会福祉の制度や政策について	66.7	3	57.6	3	48.5	5	50.7	4
単位民児協、市区町村民児協をはじめとする民生委員児童委員協議会の組織について	63.9	4	56.4	4	45.0		59.6	3
個別援助や相談・支援活動を行う上での姿勢や援助方法について	50.4		45.8		39.9		48.0	
主な活動内容、個別訪問や調査の仕方について【民生委員・児童委員のみ】	49.9		48.5		36.3		-	
主な活動内容、区域担当児童委員との関係について【主任のみ】	-		-		-		49.1	5
緊急時や困ったときの相談先、連絡方法について	49.7		42.4		35.5		33.6	
社会福祉の施設や実践などの現場見学・体験	21.5		30.6		24.4		26.1	
活動に関わる地域の関係機関や社会資源について	43.6		34.9		22.7		36.0	
先輩委員とのマンツーマンでの同行体験	11.5		10.7		7.4		8.5	
その他	12.0		13.0		12.5		12.3	
無回答	2.4		3.2		5.2		2.8	
回答者数	573		507		631		544	

⑥ 就任時研修（新任研修等）で最低限必要と思う研修内容

〔複数回答・あてはまるものすべて〕

就任時研修で「最低限必要と思う」研修の内容は、いずれも「民生委員・児童委員（主任児童委員）の理念・役割」が最も多く、次いで中堅・会長と主任では「基本的人権の尊重やプライバシー保護」があげられた。

新任では、次いで「主な活動内容と、訪問や調査の仕方」、「記録や情報管理」、「緊急時、困った時の対応」や「行政や社協との関係」等、活動のすすめ方に関する内容が上位となっている。

主任では「主な活動内容、区域担当児童委員との関係」も6割前後と高い。

また、実際の研修では1割程度という「先輩委員とのマンツーマンでの同行体験」を、共通して約3割が最低限必要と回答している。（図表 2-1-8）なお、前表との対比図を98頁に掲載。

図表 2-1-8 就任時研修（新任研修等）で最低限必要と思う研修内容

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
民生委員・児童委員（主任児童委員）活動の理念、役割について	68.1	1	69.0	1	67.4	1	77.8	1
基本的人権の尊重やプライバシー保護について	54.6	5	59.4	2	61.2	2	59.7	2
行政や社協と民生委員・児童委員（主任児童委員）活動との関係について	54.1		56.8	3	56.4	3	57.5	4
福祉票（児童票）や活動記録の付け方、情報管理のあり方について	55.1	3	49.3		52.6	4	39.7	
個別援助や相談・支援活動を行う上での姿勢や援助方法について	53.6		56.4	4	50.7	5	57.5	4
主な活動内容、個別訪問や調査の仕方について	57.9	2	55.2	5	50.7	5	-	
主な活動内容、区域担当児童委員との関係について	-		-		-		59.0	3
緊急時や困ったときの相談先、連絡方法について	54.8	4	54.8		48.8		46.3	
活動に関わる社会福祉の制度や政策について	51.5		52.7		48.0		46.5	
単位民児協、市区町村民児協をはじめとする民生委員児童委員協議会の組織について	44.5		47.5		46.8		54.2	
活動に関わる地域の関係機関や社会資源について	37.2		41.6		37.2		42.3	
先輩委員とのマンツーマンでの同行体験	36.1		30.0		29.8		28.9	
社会福祉の施設や実践などの現場見学・体験	23.7		27.0		24.1		25.4	
その他	9.2		13.2		14.7		11.6	
無回答	4.2		4.3		4.9		3.9	
回答者数	573		507		631		544	

(2) 現在の活動について

《民生委員・児童委員》

○新任・中堅ともに、9割の委員がやりがい（とても＋ある程度）を感じて活動している。会長はほとんどがやりがいを感じ、4割は「とても」と回答している。やりがいや支えの内容としては、“地域の新たな情報や知識”、“地域への貢献”、“自身の成長”、“活動の仲間”などのキーワードが上位にあがっている。

同時に、委員の9割が活動上の悩みや苦勞を感じている。その第1位は「プライバシーにどこまで踏み込んでいいか」という悩みで、新任・中堅では6割を超える。

○単位民児協内の連携やコミュニケーションについては、9割以上がとれている（十分＋ある程度）と評価し、委員同士が相談し合える雰囲気ができていると感じている。

○地域住民に「理解されている（とても＋ある程度）」と感じているのは6～7割台である。

○日常的に連絡・連携している機関・人としては、単位民児協の会長や先輩委員、社会福祉協議会、福祉事務所や役所の福祉課に加え、地域包括支援センター等が4～5割台で続いている。

○新任・中堅が最も頼りにしているのは、単位民児協会長や先輩委員という回答が多かった。

《主任児童委員》

○主任児童委員の8割以上が、やりがい（とても＋ある程度）を感じて活動している。やりがいや支えとなっていることのキーワードは民生委員・児童委員と同様で、“地域への貢献”、“地域の新たな情報や知識”、“自身の成長”、“活動の仲間”である。

しかし同時に、9割が活動上の悩みや苦勞を感じ、その悩みの第1位も「プライバシー」で民生委員・児童委員と同様であるが、「虐待の疑いなど、予防や早期発見につながる情報把握がしにくい」という個人情報の入手の課題も4割があげている。

○単位民児協内の連携やコミュニケーションについては、9割以上がとれている（十分＋ある程度）と評価している。

○主任児童委員活動について地域住民に理解されていると感じている委員は2割台に留まっているが、委員自身は地域の行事や会合などへの参加を通してのPR活動を行っている。

○日常的に連絡・連携している機関・人としては、学校（小・中・高）と単位民児協の会長や先輩委員が最も多い。他方、連絡・連携が取りにくい機関として、児童相談所・児童家庭支援センター、学校と教育委員会も上位にあげられている。

○主任が最も頼りにしているのも、単位民児協会長や先輩委員という回答であった。

1) 活動上のやりがいと苦勞

① 民生委員・児童委員（主任児童委員）活動に対するやりがいの程度〔単数回答〕

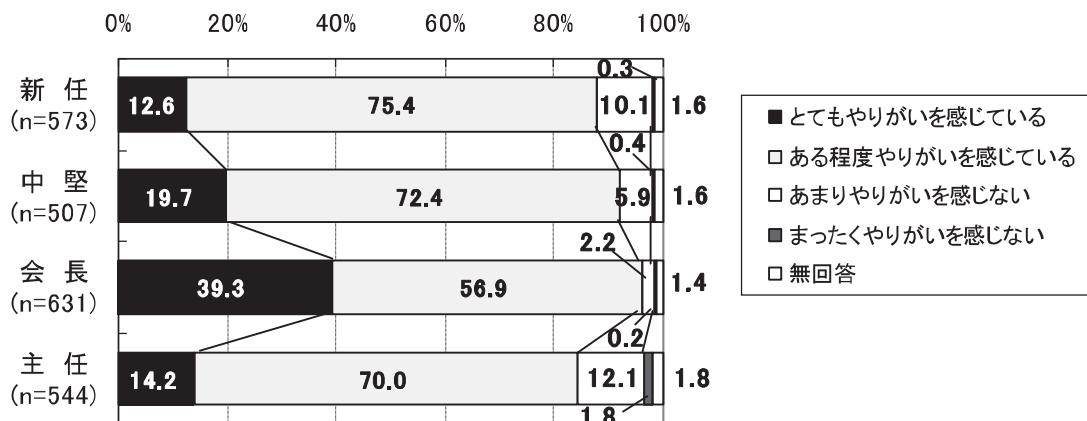
民生委員・児童委員（主任児童委員）活動に対するやりがいの程度は、いずれも8割以上がやりがいを感じている（とても＋ある程度）。特に会長では、「とてもやりがいを感じている」とする回答も4割にのぼった。

一方で、新任と主任では「やりがいを感じない（あまり＋まったく）」とする回答も1割強みられた。（図表2-1-9・2-1-10）

図表 2-1-9 民生委員・児童委員（主任児童委員）活動に対するやりがいの程度

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
とてもやりがいを感じている	12.6		19.7		39.3		14.2	
ある程度やりがいを感じている	75.4	1	72.4	1	56.9	1	70.0	1
あまりやりがいを感じない	10.1		5.9		2.2		12.1	
まったくやりがいを感じない	0.3		0.4		0.2		1.8	
無回答	1.6		1.6		1.4		1.8	
回答者数	573		507		631		544	

図表 2-1-10 やりがいの程度



② 委員としてのやりがいや支え〔複数回答・3つまで〕

(対象:「①やりがいの程度」で、やりがいを感じている回答者のみ=「まったくやりがいを感じない」を除く)

民生委員・児童委員としてのやりがいや支えは、共通して「地域の福祉活動(児童福祉・子育て支援活動)推進に貢献できた」が多いが、新任では「身の回りの組織や団体の活動を知ることができた」、中堅では「自分自身が成長できた」が第1位となっている。(図表2-1-11)

図表2-1-11 委員としてのやりがいや支えの内容

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
地域の福祉活動推進に貢献できた	37.2	2	43.7	2	51.7	1	-	
地域の児童福祉・子育て支援活動の推進に貢献できた	-		-		-		60.1	1
活動を通じて自分自身が成長できた	27.9		45.7	1	46.7	2	42.9	3
困っている人を助けることができた	26.0		34.8	4	36.6	3	15.1	
地域住民や身の回りの組織や団体の活動を知ることができた	44.5	1	39.8	3	34.9	4	52.3	2
住民や相談に来た人から感謝やねぎらいのことばを掛けてもらった	29.5	4	31.6		29.8	5	7.6	
活動を通じて仲間ができた	34.5	3	33.6	5	28.2		41.4	4
地域の人々の認知や協力が得られた	21.5		23.3		22.5		13.0	
地域社会やお世話になったことへの恩返しができる	29.5	4	23.7		21.4		16.6	5
活動が自分の生活の「はり」につながっている	13.7		9.7		19.6		9.4	
その他	2.1		2.8		1.9		2.5	
特に思い当たらない	0.0		0.0		0.0		0.8	
無回答	0.0		0.2		0.7		0.0	
回答者数	562		497		621		458	

③ 活動上の悩みや苦勞〔複数回答・3つまで〕

活動上の悩みや苦勞については、「特にない」と「無回答」を除く、およそ9割の委員から回答があった。具体的な悩みや苦勞としては、「プライバシーにどこまで踏み込んでいいのか戸惑う」が共通して最も多く（5～6割）、とくに新任は7割近くが悩んでいる。次いで、新任・中堅・会長では「制度改正が多く、知識や情報が追いつかない」があたり、新任では「援助を必要とする方へのかかわり方や援助の範囲、支援の方法がわからない」が第3位にあがっている。

また、主任では「虐待の疑いなど、予防や早期発見につながる情報把握がしにくい」が4割を超え、第2位にあげられた。（図表2-1-12）

図表 2-1-12 活動上の悩みや苦勞

	新任		中 堅		会 長		主 任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
プライバシーにどこまで踏み込んでいいのか戸惑う	67.5	1	64.9	1	52.5	1	51.8	1
社会福祉の制度改正が多く、知識や情報が追いつかない	31.9	2	34.9	2	43.9	2	13.6	
虐待の疑いなど、予防や早期発見につながる情報把握がしにくい	23.4	4	32.9	3	35.3	3	44.3	2
配布物や調査など、行政や社協からの協力依頼事項が多すぎる	18.0	5	20.1	4	28.8	4	5.5	
会議や研修などにとられる時間が多すぎる	10.1		10.1		21.4	5	16.5	5
町内会や自治会の行事、慶弔などの負担が大きい	5.6		9.9		11.1		8.1	
訪問先に、民生委員・児童委員（主任児童委員）として受け入れてもらえないことがある	7.9		10.1		7.0		7.9	
行政や社協の協力が得にくいことがある	2.8		7.5		6.2		3.9	
援助を必要とする人への援助の範囲、支援の方法がわからない	23.7	3	8.1		4.1		18.6	4
援助が困難な場合の相談先が判断しにくい	6.5		5.1		3.8		2.2	
相談件数が多すぎる	1.2		0.6		2.9		1.1	
事務局任せで委員の主体性が発揮しにくい	0.7		2.0		1.6		3.1	
民児協内に、困っていることを相談できる仲間や先輩がいない	0.9		0.8		1.0		1.1	
受け持ちの世帯数が多すぎる【民生委員・児童委員のみ】	13.1		12.2	5	11.4		-	-
民生委員・児童委員と異なって、地域が広すぎる【主任のみ】	-	-	-	-	-	-	18.9	3
活動区域が設定されていないので、かえって活動しにくい【主任のみ】	-	-	-	-	-	-	7.9	
区域担当の児童委員との連携が取りにくい【主任のみ】	-	-	-	-	-	-	6.6	
その他	6.8		9.7		7.8		10.5	
特にない	3.7		3.9		3.3		4.4	
無回答	6.3		4.5		3.8		5.9	
回答者数	573		507		631		544	

2) 単位民児協内での連携やコミュニケーション

① 単位民児協内での連携やコミュニケーションの程度〔単数回答〕

所属する単位民児協内での連携やコミュニケーションの程度については、いずれも9割前後の委員が「連携やコミュニケーションがとれている（十分に+ある程度）」と回答している。「十分にとれている」とする回答は、新任→中堅→会長の順に多くなっている。（図表 2-1-13）

図表 2-1-13 単位民児協内での連携やコミュニケーションの程度

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
十分にとれている	22.7		28.2		32.5		24.6	
ある程度とれている	67.9	1	63.1	1	63.1	1	63.6	1
あまりとれていない	7.7		7.3		3.2		9.0	
まったくとれていない	0.2		0.0		0.2		0.7	
無回答	1.6		1.4		1.1		2.0	
回答者数	573		507		631		544	

② 単位民児協内での連携やコミュニケーションの内容

〔複数回答・あてはまるものすべて〕

（対象：「①連携やコミュニケーションの程度」で、「(十分に・ある程度)とれている」との回答者のみ）

単位民児協内で委員同士が協力して活動を行うためにとられている連携やコミュニケーションの内容は、順位がいずれも共通し、「委員同士が情報交換や相談し合える雰囲気ができている」や「定例会において、活動経験から学び、悩みを共有する仕組みができている」は、6割台～8割台にのぼっている。（図表 2-1-14）

図表 2-1-14 単位民児協内での連携やコミュニケーションの内容

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
普段から委員同士が互いに情報交換したり、相談し合えるような雰囲気ができている	74.4	1	83.8	1	87.4	1	78.5	1
定例会において、活動事例の検討などによって、他の委員の活動経験から学び、悩みを共有する仕組みができている	67.6	2	76.9	2	82.1	2	64.0	2
民生委員・児童委員と主任児童委員の間でも情報を共有し、解決策を検討する仕組みができている	46.4	3	59.8	3	67.8	3	58.8	3
部会において、情報を共有し、事業内容を検討し合う仕組みができている	34.1	4	42.1	4	41.0	4	39.0	4
特定の委員に負担が偏らないよう、民児協内で分担する仕組みができている	27.0	5	30.7	5	37.1	5	20.6	5
その他	3.3		4.1		5.0		2.5	
特にない、わからない	1.7		0.2		0.3		0.8	
無回答	0.6		0.2		0.5		0.2	
回答者数	519		463		603		480	

③単位民児協内での連携やコミュニケーションにおける課題

〔単数回答・最も近いもの※但し、複数回答分を含む〕

(対象：「①連携やコミュニケーションの程度」で、「(あまり・まったく)とれていない」との回答者のみ)

所属する単位民児協内における連携やコミュニケーションがとれていないと感じている新任・中堅・会長は、一番の課題として「定例会において活動事例の検討を通じた悩みを共有する仕組み」や「情報交換や相談し合える雰囲気」ができていないことを上位にあげている。

一方、主任では「民生委員・児童委員間、主任児童委員間でも情報の共有がなく、解決策を検討する仕組み」がないことが最も多い。(図表 2-1-15)

図表 2-1-15 連携やコミュニケーションにおける課題

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
普段から委員同士が互いに情報交換したり、相談し合えるような雰囲気ができていないこと	26.7	2	27.0	2	33.3	1	17.0	3
定例会において、活動事例の検討などによって、他の委員の活動経験から学び、悩みを共有する仕組みができていないこと	53.3	1	37.8	1	28.6	2	28.3	2
民生委員・児童委員間、主任児童委員間でも情報の共有がなく、解決策を検討する仕組みができていないこと	11.1	3	10.8	3	28.6	2	37.7	1
特定の委員に負担が偏らないよう、民児協内で分担する仕組みができていないこと	2.2		10.8	3	9.5		5.7	
部会において、情報を共有し、事業内容を検討し合う仕組みができていないこと	2.2		5.4		9.5		3.8	
その他	4.4		10.8		9.5		17.0	
特になし、わからない	6.7		5.4		0.0		3.8	
無回答	0.0		0.0		0.0		0.0	
回答者数	45		37		21		53	

3) 地域住民の理解とPR活動

①活動に対する地域住民の理解度〔単数回答〕

活動に対する地域住民の理解度については、新任・中堅・会長ともに「ある程度理解されていると思う」が6割～7割台と多い。

一方、主任では「(あまり)理解されていないと思う」と3/4以上が、回答している。(図表 2-1-16)

表 2-1-16 地域住民の理解度

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
とても理解されていると思う	6.5		6.1		9.0		0.7	
ある程度理解されていると思う	61.1	1	71.8	1	75.4	1	20.6	
あまり理解されていないと思う	30.4		20.9		13.8		58.3	1
理解されていないと思う	1.7		0.6		0.6		19.3	
無回答	0.3		0.6		1.1		1.1	
回答者数	573		507		631		544	

②単位民児協として行っている地域住民へのPR活動

〔複数回答・あてはまるものすべて〕

《新任・中堅・会長》

民生委員・児童委員(主任児童委員)活動の地域住民に対するPR活動については、単位民児協として何らかのPR活動を行っているとは8～9割が回答している。

具体的内容として、新任・中堅・会長ともに、「市区町村の広報や社協便りへの活動紹介・活動報告の掲載」や「自己紹介カード(PRカード)を活用した訪問や配布」が上位にあがっている。(図表2-1-17)

図表2-1-17 地域住民へのPR活動 《新任・中堅・会長》

	新任		中堅		会長	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
市区町村の広報や社協便りに、民生委員・児童委員や単位民児協の活動紹介や活動報告を掲載している	43.5	1	49.3	1	52.3	1
全民児連や都道府県民児協で作成・配布された「自己紹介カード(PRカード)」を活用して、訪問や情報提供の際に説明、配布している	34.2	2	37.9	2	48.3	2
自治会・町内会の会合など、地域の関係団体等へ訪問して説明している	24.8	4	37.5	3	42.9	3
地域の行事(夏祭りや福祉祭りなど)の場で、単位民児協として催しものを出している	26.4	3	32.3	4	30.6	4
福祉施設の行事(バザーや夏祭り、地域住民との交流会など)の場で、単位民児協として催しものを出している	23.6	5	28.0	5	26.0	5
単位民児協で独自に、活動紹介の案内チラシや広報紙を作成している	11.7		13.6		18.1	
単位民児協で独自に、ホームページを作成している	0.9		0.4		1.1	
その他	5.9		12.8		13.9	
特にない	14.7		7.9		4.9	
無回答	2.4		1.0		0.2	
回答者数	573		507		631	

《主任》

主任の場合も、約9割の回答者が何らかのPR活動を行っているとは認識している。

具体的内容としては、主任児童委員として「地域の行事」や「福祉施設の行事」への出席や「自治会・町内会の会合などへの訪問・説明」などが多くあげられ、地域に自ら出向き参加することで、主任児童委員の存在や役割を説明しているようすがわかる。(図表 2-1-18)

図表 2-1-18 地域住民へのPR活動 《主任》

	主任	
	構成比	順位
地域の行事（夏祭りや福祉祭りなど）の場に、主任児童委員として出席し説明している	50.4	1
福祉施設の行事（バザーや夏祭り、地域住民との交流会など）の場に、主任児童委員として出席し説明している	37.3	2
自治会・町内会の会合など、地域の関係団体等へ主任児童委員として訪問し説明している	26.3	3
市区町村の広報や社協便りに、主任児童委員の活動紹介や活動報告を掲載している	25.9	4
全民児連や都道府県民児協で作成・配布された「自己紹介カード（PRカード）」を活用して、訪問や情報提供の際に説明、配布している	23.3	5
単位民児協で独自に作成している活動紹介の案内チラシや広報紙で、主任児童委員の活動を紹介している	14.5	
単位民児協で独自に作成しているホームページで、主任児童委員の活動を紹介している	0.6	
その他	15.1	
特になし	10.1	
無回答	0.9	
回答者数	544	

③ PR活動の進展度 [単数回答]

(対象：中堅・会長・経験年数3年以上の主任)

地域住民へのPR活動が前回(3年前)と比較してどの程度進展したかについては、中堅・会長ともに約2/3~3/4の割合で、「(大きく・ある程度)進展した」と評価している。

一方、主任の場合は、「(大きく・ある程度)進展した」とする評価は約半数で、「(あまり・まったく)進展していない」との回答も4割以上にのぼった。(図表 2-1-19)

図表 2-1-19 PR活動の進展度

	中 堅		会 長		主 任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
大きく進展した	7.3		11.1		6.1	
ある程度進展した	58.0	1	63.5	1	47.0	1
あまり進展していない	29.8		20.6		39.7	
まったく進展していない	2.4		1.0		5.2	
無回答	2.6		3.8		2.0	
回答者数	507		631		345	

4) 委員活動を展開する上での他機関等との連携

① 日常的に連絡・連携を取り合っている機関・人〔複数回答・5つまで〕

日常的に連絡を取り合っている機関・人を見ると、新任・中堅では、「単位民児協の会長、先輩委員や役員」や「社会福祉協議会」、「福祉事務所／役所の福祉担当課」、「地域包括支援センター・在宅介護支援センター」、「自治会・町内会」が上位となっている。会長では、「社会福祉協議会」と「所在市町村の民児協事務局」がとくに多い。

主任では、「学校（小・中・高）」が約8割と最も多いが、「単位民児協の会長、先輩委員や役員」も7割を超え、この他、子どもや子育てに関わる連携先が幅広くあげられている。（図表 2-1-20）

図表 2-1-20 日常的に連絡・連携を取り合っている機関・人

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
社会福祉協議会	58.6	2	67.7	2	75.3	1	26.3	5
所在市町村の民児協事務局	32.8		38.1	5	60.1	2	30.7	4
福祉事務所／役所の福祉担当課	49.9	3	60.0	3	59.6	3	23.5	
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	43.5	4	57.6	4	56.9	4	3.5	
学校（小・中・高）	26.7		32.3		40.9	5	77.9	1
単位民児協の会長、先輩委員や役員	76.1	1	68.6	1	39.0		72.8	2
自治会・町内会	41.0	5	36.7		27.9		10.8	
都道府県の民児協事務局	1.6		2.6		13.3		1.1	
地域子育て支援センター	4.5		5.3		8.6		25.6	
公民館・社会教育施設	6.0		6.1		7.8		7.7	
保育所・幼稚園	4.7		5.3		7.6		38.1	3
保健所・保健センター	3.5		6.1		7.0		17.1	
家庭児童相談室／役所の児童福祉担当課	2.4		4.3		5.5		24.3	
福祉施設	3.1		6.3		5.2		2.2	
警察署・消防署	3.1		3.9		4.4		4.8	
居宅介護支援事業所	2.6		5.9		4.1		0.6	
教育委員会	1.7		2.9		4.1		7.9	
ボランティア団体、当事者やNPO団体	2.6		3.9		3.6		2.6	
児童相談所・児童家庭支援センター	0.7		1.4		3.2		11.2	
児童館	2.1		2.8		3.0		14.9	
病院・医院	1.0		0.6		0.5		0.2	
裁判所・弁護士会（事務所）	0.0		0.4		0.0		0.2	
その他	1.2		2.0		0.5		3.3	
無回答	0.9		5.9		8.6		2.8	
回答者数	573		507		631		544	

② 最も頼りになる機関・人〔単数回答〕

最も頼りになる機関・人は、新任・中堅と主任に共通して「単位民児協の会長、先輩委員や役員」が最も多く、会長で最も多い「所在市町村の民児協事務局」はいずれも1割前後であった。

新任・中堅・会長では、次いで「福祉事務所／役所の福祉担当課」、会長で「社会福祉協議会」、中堅では「地域包括支援センター・在宅介護センター」もあげられている。

また、主任では「学校（小・中・高）」、「家庭児童相談室／役所の児童福祉担当課」がそれぞれ1割程度あげられている。（図表 2-1-21）

図表 2-1-21 最も頼りになる機関・人

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
所在市町村の民児協事務局	11.7	3	12.8	4	26.9	1	9.4	3
福祉事務所／役所の福祉担当課	12.2	2	17.9	2	19.0	2	5.9	5
社会福祉協議会	8.4	5	9.1	5	14.9	3	5.3	
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	9.2	4	13.2	3	7.8	4	0.2	
単位民児協の会長、先輩委員や役員	41.9	1	29.0	1	7.3	5	38.6	1
自治会・町内会	4.4		3.0		1.7		0.6	
都道府県の民児協事務局	0.5		0.8		1.4		0.0	
保健所・保健センター	0.2		0.2		0.5		2.4	
家庭児童相談室／役所の児童福祉担当課	0.5		0.0		0.3		9.0	4
学校（小・中・高）	0.3		0.0		0.3		10.8	2
ボランティア団体、当事者やNPO団体	0.2		0.2		0.3		0.2	
児童館	0.0		0.0		0.2		0.9	
警察署・消防署	0.0		0.0		0.2		0.4	
居宅介護支援事業所	0.0		0.8		0.0		0.0	
福祉施設	0.2		0.0		0.0		0.0	
保育所・幼稚園	0.0		0.0		0.0		0.6	
地域子育て支援センター	0.0		0.0		0.0		2.0	
児童相談所・児童家庭支援センター	0.2		0.0		0.0		2.9	
教育委員会	0.0		0.0		0.0		0.9	
公民館・社会教育施設	0.2		0.0		0.0		0.0	
病院・医院	0.0		0.0		0.0		0.0	
裁判所・弁護士会（事務所）	0.0		0.2		0.0		0.0	
その他	0.2		0.4		0.3		1.3	
無回答	9.8		12.4		18.9		8.6	
回答者数	573		507		631		544	

③ 連絡・連携が取りにくい機関・人〔複数回答・5つまで〕

新任・中堅・会長が連絡・連携が取りにくいと感じる機関・人として、共通して「警察署・消防署」、「教育委員会」、「裁判所・弁護士会」、「病院・医院」が上位にあがっている。

一方、主任では相談・支援活動に直接関係のある「児童相談所・児童家庭支援センター」、「学校（小・中・高）」と「自治会・町内会」も上位にあげられている。（図表2-1-22）

図表 2-1-22 連絡・連携が取りにくい機関・人

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
警察署・消防署	21.0	1	23.3	1	29.8	1	23.0	2
教育委員会	13.9	4	19.1	3	26.0	2	22.1	3
裁判所・弁護士会（事務所）	19.0	2	20.1	2	24.9	3	11.9	
病院・医院	16.0	3	17.8	4	23.9	4	13.8	
児童相談所・児童家庭支援センター	9.0		11.0		17.4	5	26.5	1
学校（小・中・高）	8.4		14.6	5	15.8		19.7	4
保健所・保健センター	7.5		10.7		13.9		10.5	
家庭児童相談室／役所の児童福祉担当課	6.5		7.1		12.2		15.6	
ボランティア団体、当事者やNPO団体	7.9		8.1		11.1		6.3	
自治会・町内会	7.5		7.9		10.8		16.2	5
居宅介護支援事業所	9.8	5	7.7		10.6		1.5	
福祉施設	8.7		6.9		10.1		6.3	
都道府県の民児協事務局	9.0		7.3		9.8		5.9	
保育所・幼稚園	3.5		4.1		6.7		14.2	
福祉事務所／役所の福祉担当課	9.1		7.7		6.3		9.4	
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	8.2		5.9		5.4		2.2	
公民館・社会教育施設	2.1		3.7		5.4		2.9	
地域子育て支援センター	3.0		5.3		5.1		10.8	
社会福祉協議会	4.7		4.9		3.3		4.2	
所在市町村の民児協事務局	4.2		3.4		2.1		3.3	
児童館	1.0		2.8		2.1		3.7	
単位民児協の会長、先輩委員や役員	3.1		2.4		1.6		1.7	
その他	8.7		6.5		5.7		4.8	
無回答	27.0		28.2		19.8		16.4	
回答者数	573		507		631		544	

5) 実際の相談・支援活動で最も困難だったケース

① 「最も課題や困難を感じたケース」の内容〔単数回答〕

(対象:「最近(およそ半年の間)行った相談・支援活動の中で、『最も課題や困難を感じたケース』について」という設問に対する回答者)

「最も課題や困難を感じたケース」については、会長で7割以上、新任でも半数以上という多数の回答が寄せられた。

その具体的なケースの内容(主な課題)では、新任・中堅・会長いずれも「高齢者の孤立」と「経済的困窮者・低所得世帯の問題」の回答が多くなっている。

主任では、「児童・生徒の引きこもりや不登校」が全体の1/3と最も多く、「児童への虐待」、「育児不安」などが続いている。(図表2-1-23)

図表2-1-23 最も課題や困難を感じたケースの内容(主な課題)

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
高齢者への虐待	1.3		3.9		5.7		0.6	
高齢者の孤立	34.9	1	28.3	1	23.0	1	2.6	
高齢者や障害者などの消費者トラブル	2.6		2.7		3.9		0.0	
介護ストレス、介護家族の孤立	4.5		3.3		4.3		0.6	
育児不安	1.0		0.9		1.1		11.5	3
児童への虐待	1.9		1.8		4.1		16.9	2
家庭内暴力(DVを含む)	1.3		2.1		2.2		4.0	
青少年の非行	0.6		0.6		0.9		4.3	
児童・生徒の引きこもりや不登校	4.8		6.8		5.7		33.5	1
ひとり親家庭の孤立	2.2		2.7		0.9		7.7	
青年・中年層の孤立・引きこもり	1.9		2.7		3.7		0.9	
障害児・者への虐待	0.0		0.3		0.0		0.0	
障害児・者の地域生活の課題	1.9		4.2		3.7		2.9	
精神障害者の地域生活の課題	5.8	3	7.4	3	11.1	3	1.1	
外国人の孤立	0.6		0.3		0.4		0.9	
ホームレスなどの問題	0.0		0.0		0.2		0.0	
経済的困窮者・低所得世帯の課題	24.0	2	23.8	2	21.5	2	3.2	
多重債務の問題	1.9		1.8		1.3		0.3	
その他	8.7		6.5		6.3		9.2	
回答者数	312		336		460		349	

② 「最も課題や困難を感じたケース」に関わるきっかけ

[複数回答・あてはまるものすべて]

(対象:「最近(およそ半年の間)行った相談・支援活動の中で、『最も課題や困難を感じたケース』について」という設問に対する回答者)

「最も課題や困難を感じたケース」に関わるきっかけをみると、新任・中堅・会長ともに「自分自身の巡回活動や訪問活動によって発見した」が最も多く、次いで「要援護者宅の近隣からの相談、または話を聞いた」が多い。「行政、関係機関や社協等から依頼を受けた」は2割前後となっている。

主任では「行政、学校、児童相談所など関係機関や社協等から依頼を受けた」が過半数を占めている。(図表 2-1-24)

図表 2-1-24 最も課題や困難を感じたケースに関わるきっかけ

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
自分自身の巡回活動や訪問活動によって発見した	42.1	1	47.5	1	43.2	1	12.3	
要援護者宅の近隣の方から相談(通報)を受けた、または話を聞いた	34.9	2	32.9	2	40.1	2	15.5	2
行政、地域包括支援センター、学校、児童相談所など関係機関や社協等から依頼を受けた	18.4	3	21.1	3	24.5	3	55.8	1
サロン活動など民児協活動の場面で参加者等から話を聞いた	2.3		5.0		8.0		9.4	
その他	17.1		13.4		10.9		15.5	2
回答者数	304		322		449		342	

③ 「最も課題や困難を感じたケース」への相談・支援活動の内容

〔複数回答・あてはまるものすべて〕

(対象:「最近(およそ半年の間)行った相談・支援活動の中で、『最も課題や困難を感じたケース』について」という設問に対する回答者)

「最も課題や困難を感じたケース」に対して行った具体的な相談・支援活動をみると、多少の順位差はあるものの、「定期的な訪問活動」、「相談の継続」、「関係機関などへの対応依頼」等が多いが、関係機関へは「通報」「紹介」「同行による支援」と「対応についての協議」というケースに応じた支援があげられている。

また、「近所の方への見守りの依頼」等の地域への働きかけも多く、とくに主任では、1割弱だが「民児協における支援チームの結成等」もあげられている。(図表2-1-25)

図表 2-1-25 最も課題や困難を感じたケースへの相談・支援活動の内容

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
関係機関などへの対応依頼	37.0	2	45.3	2	45.9	1	35.5	1
定期的な訪問活動	51.5	1	54.7	1	43.4	2	26.9	
近所の方への見守りの依頼	28.7	4	33.9		40.0	3	28.4	5
相談の継続	35.3	3	39.1	3	39.1	4	34.0	2
適切な機関の紹介や、サービスなどに関する情報の提供	28.4	5	37.3	4	37.1	5	18.3	
関係機関などへの通報	26.4		34.6	5	35.8		29.0	4
要援護者への対応についての関係機関との協議	18.2		28.4		30.2		31.1	3
関係機関などへの同行による支援	14.9		22.6		18.3		14.8	
サロンや行事などへの参加の勧誘	7.9		12.5		13.0		6.2	
地域ぐるみでの支援活動の立ち上げ	2.3		3.4		3.8		3.8	
民児協における支援チームの結成等	1.0		2.4		2.7		8.6	
その他	5.9		6.7		4.5		7.7	
回答者数	303		327		447		338	

6) 「90周年活動強化方策」、「災害時一人も見逃さない運動」の取り組みについて

① 「90周年活動強化方策」の活用状況〔複数回答・あてはまるものすべて〕

民生委員制度創設90周年にあたり平成19年7月に策定された「90周年活動強化方策～広げよう地域に根ざした思いやり」の活用状況は、新任・中堅と主任では、「今後の活動にいかせるよう検討したい」が最も多い。中堅では「委員個人の活動にいかしている」と「単位民児協の活動にいかしている」もほぼ同程度であったが、新任・と主任は、3割が「わからない」と答えている。

また、会長では、「単位民児協での活動にいかしている」が半数を超え、「学習会を開催している」、「(独自の)活動方策を策定している」など単位民児協として取り組まれている様子がうかがえる一方で、「今後いかせるよう検討したい」も4割近くのものだった。(図表2-1-26)

図表 2-1-26 「90周年活動強化方策」の活用

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
単位民児協での活動にいかしている	17.3		32.3	3	52.6	1	18.8	3
委員個人の活動にいかしている	25.5	3	35.5	2	45.2	2	16.9	
現在は活用していないが、今後委員個人や単位民児協の活動にいかせるよう検討していきたい	32.8	1	39.1	1	37.4	3	40.1	1
「90周年活動強化方策」をもとに、単位民児協内で学習会を行っている	8.0		13.0		27.9		8.6	
「90周年活動強化方策」をもとに、単位民児協内で活動方策を策定している	5.1		15.2		23.3		8.3	
具体的な活動にいかせるのかわからない	31.8	2	15.8		7.8		30.9	2
その他	4.4		3.6		2.7		1.8	
無回答	6.6		3.6		0.8		2.8	
回答者数	573		507		631		544	

② 「民生委員・児童委員発 災害時一人も見逃さない運動」の取り組みの実感

〔単数回答〕

民生委員制度創設 90 周年記念事業・全国一斉活動として推進された「民生委員・児童委員発 災害時一人も見逃さない運動」の取り組みについては、中堅・会長では「災害以外の委員活動にとってもプラスになると感じた」が最も多く、次いで「当初から重要だと思って取り組んでいる」、「実際に取り組んでみて重要だと思うようになった」の順となっている。

新任と主任では、3割が「活動を始めたばかりなので、あまり実感が無い」と回答しているが、新任でも「災害以外の委員活動にとってもプラスになると感じた」、「実際に取り組んでみて重要だと思うようになった」との回答が上位になっている。(図表 2-1-27)

図表 2-1-27 「災害時一人も見逃さない運動」への感想

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
当初から重要な活動だと思って取り組んでいる	11.3		18.7	2	27.9	2	11.6	
最初はよくわからなかったが、実際に取り組んでみて、この活動自体が重要だと思うようになった	16.8	3	17.8	3	12.5	3	14.0	3
この活動を行う中で、災害以外の民生委員・児童委員（主任児童委員）活動にとってもプラスになると感じた	17.8	2	29.0	1	36.5	1	9.2	
活動に取り組んではいるが、それほど重要だとは思わない	1.0		1.2		1.3		1.3	
活動を始めたばかりなので、あまり実感が無い	28.6	1	11.0		6.8		30.5	1
災害が少ない地域なので、あまり実感が無い	13.4		13.4		10.0		20.2	2
その他	5.8		6.1		2.9		8.3	
無回答	5.2		2.8		2.2		5.0	
回答者数	573		507		631		544	

③ 「災害時一人も見逃さない運動」でプラスになったこと

〔複数回答・あてはまるものすべて〕

(対象：「②災害時一人も見逃さない運動への感想」で「災害以外の民生委員・児童委員（主任児童委員）活動にもプラスになると感じた」という回答者)

「民生委員・児童委員発 災害時一人も見逃さない運動」を行うことで災害時以外の民生委員・児童委員（主任児童委員）活動にとってもプラスになると感じた、その具体的内容をたずねたところ、要援護者との関係、自治会等の地域団体との連携や地域住民との関係のいずれの項目も高い回答率となった。会長では「行政・関係機関との連携を進めていくきっかけ」も半数以上があげている。

新任・中堅ともに、「要援護者の訪問活動」、「自治会など地域の団体と連携」のきっかけとなったことが上位にあげられ、「地域で民生委員・児童委員活動について知られるようになった」という評価も高かった。

主任では、「自治会など地域の団体と連携」が最も多く、次いで「行政・関係機関との連携」となっている。(図表 2-1-28)

図表 2-1-28 「災害時一人も見逃さない運動」でプラスになったこと

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
自治会など、地域の団体と連携を進めていくきっかけとなった	43.1	2	59.9	2	67.4	1	56.0	1
要援護者の家庭へ訪問しやすくなったなど、訪問活動のきっかけとなった	61.8	1	62.6	1	62.2	2	22.0	
行政など、地域の関係機関との連携を進めていくきっかけとなった	26.5		38.1		52.6	3	42.0	2
地域で民生委員・児童委員（主任児童委員）活動について知られるようになった	43.1	2	46.3	3	48.7		36.0	3
その他	2.0		4.8		4.3		8.0	
無回答	0.0		0.0		0.0		0.0	
回答者数	102		147		230		50	

7) 個人情報を取り扱う上での留意点と悩み・苦労

① 個人情報の入手・管理における留意点〔複数回答・あてはまるものすべて〕

個人情報の入手・管理における留意点は、「第三者に個人情報を公開・口外しない」や「名簿などの個人情報は持ち歩かない」・「コピーはとらない」、「委員自身が情報を収集する」が共通して高い回答率で上位にあがっている。

主任では、「委員自身が情報を収集する」が4割弱にとどまっているほか、「内容についての本人の確認」、「用途や開示の範囲などについての本人の了解」が少ない傾向にあり、民生委員・児童委員と入手経路等が異なる様子もうかがえる。(図表 2-1-29)

図表 2-1-29 個人情報の入手・管理における留意点

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
本人の許可なく、第三者に個人の情報を公開・口外しない	82.9	1	87.0	1	82.9	1	71.3	1
名簿や福祉票（児童票）などの各種個人情報は持ち歩かない	64.7	2	80.9	2	76.5	2	48.7	2
民生委員・児童委員（主任児童委員）自身が情報を収集する	55.7	3	66.5	3	70.5	3	38.2	5
事例検討会などでは、個人が特定されないよう工夫をしている	27.6		48.9		59.0	4	40.4	3
名簿や福祉票（児童票）などの各種個人情報のコピーはとらない	50.3	4	60.0	4	55.9	5	39.2	4
福祉票（児童票）などの記録には、支援に直接関係のない事項や、本人（世帯）、情報提供者が記載を拒否するものについては記載しない	40.7	5	52.3	5	52.1		10.3	
情報入手に当たっては、用途や開示の範囲などについて本人の了解を得たもの限定している	36.3		44.0		46.4		17.3	
援助が終了した時点で、個人情報は破棄している	12.6		30.8		38.2		14.3	
保有する情報内容について、内容に間違いがないか本人の確認を得ている	26.9		33.9		29.6		7.0	
引き継ぎの場合は、本人・世帯の了解を得て後任者に引き継いでいる	4.0		11.2		17.1		3.9	
その他	1.6		2.0		2.5		2.4	
無回答	1.7		1.2		1.3		2.2	
回答者数	573		507		631		544	

② 個人情報の取り扱いについての悩みや苦勞〔複数回答・あてはまるものすべて〕

個人情報の取り扱いについての悩みや苦勞は、「特にない」、無回答を除く約7割から9割の委員が、何らかの悩みや苦勞を感じている。民生委員・児童委員では、新任→中堅→会長の順に、悩みや苦勞の内容が増えている。

具体的な悩みや苦勞は、「関係機関や地域住民などから必要な情報が得にくい」、「行政から必要な情報が得にくい」という情報収集の問題と、逆に「地域住民や関係機関等から情報開示や提供を求められたときの対応」、「情報共有のルールがないため、判断に困る」という情報提供・共有の問題で、各委員共通の傾向である。(図表 2-1-30)

図表 2-1-30 個人情報の取り扱いについての悩みや苦勞

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
関係機関や福祉施設(学校)、地域住民などが個人情報保護に敏感になっており、必要な情報が得にくい	35.8	1	50.7	1	63.5	1	52.9	1
行政から必要な情報が得にくい	29.3	3	47.5	2	60.1	2	31.8	2
地域住民や関係機関・団体から情報開示や情報提供を求められたときに、どこまで対応してよいのか悩む	31.8	2	40.4	3	37.4	3	24.1	3
複数の相談機関やサービス事業者で支援にあたる場合に、情報共有のルールがないため、どこまで情報を共有化していいのか判断に困る	19.2	5	25.6	4	28.5	4	17.3	5
行政などから個別ケースの状況把握を依頼され報告したが、その結果についてフィードバックがない	7.3		13.9	5	21.2	5	20.2	4
要援護者の情報の関係機関との共有について、本人や家族の理解、同意が得にくい	7.5		9.7		13.3		5.9	
福祉票(児童票)の作成や訪問調査活動などが個人情報保護法にふれないか心配	15.9		10.5		11.3		3.7	
要援護者から「情報を口外しているのではないか」と不安を抱かれないか心配	7.2		6.5		4.9		3.1	
その他	3.1		2.8		2.5		2.0	
特にない	20.6	4	11.4		7.3		15.6	
無回答	6.5		6.3		4.6		6.4	
回答者数	573		507		631		544	